



淡路島七福神巡りとは、淡路島を七福神が乗る宝船に見立て、島内各所で七福神をお祀りしているお寺を参拝して巡ることです。どうも皆様、高尾でございます、合掌。

今回は七福神の一神、「大黒天」をお祀りしています。「八浄寺」です。八浄寺の歴史は1394年より時代の推移とともに栄枯盛衰を経て今にいたります。

御本尊は阿弥陀如来坐像です。お祀りしています「秘仏・開運大黒天」は秘仏ゆえ年3回の特別開扉のみお姿を見ることができず、私はまだ見ることが叶わず…お前にはまだ早い…ということなのでしょう。代わりにお姿を模した「甲子大黒天」を見ることができ、高さが2m。なかなか大きく色彩も豊かです。甲子大黒天は大仏師の松久宗琳師の作で、昭和59年(甲子年)の午前零時(子刻)という千余年に一度しか巡り合わせない甲子環合という大吉祥の瞬間に、百僧供養という大法要をもって開眼入魂された…と住職さんの話。この大黒天(通称大黒さん)は頭に

頭巾、ふくよかな姿、福耳と言われる大きな耳、左手には大きな袋、右手には打ち出の小槌を持ち、二俵の上に立ち、白ネズミを従えています。もとはインドのヒンズー教にある創造と破壊を司るシヴァ神の化身がインド密教に取り入れられ「マハーカーン」になりました。「マハー」は大(偉大)、「カーン」は黒(暗黒)を意味することから日本には仏法守護の神として大黒天と伝わりましたが、日本神話の「大国主命」と結びつき五穀豊穡(裕福)の神様として広く知られることになりました。頭の頭巾は「謙虚さ」を表し、二俵は「二俵で満足する」という欲張らない心を表し、左手に持

つ大きな袋は「ふくろ」から「福労」と転じて苦勞をいとわず買って出て苦勞の積み重ねを溜め込むための大きな袋と言われている。若い時の苦勞は買ってもしろ…とは、先人の言葉にありましたが、もしかすると大黒天の「福労」からきているのかもしれない。右手に持つ打ち出の小槌は怠けの心・邪な心・弱い心など「邪悪な心」を打ち振って人の心を晴らし、裕福な人生が溢れ出ると言われています。積み重ねた苦勞を裕福な人生に変える…そうなければいいですね。

そして、従えているネズミは、東西南北、縦横無尽に走りまわって食べ物などを集めてきます。俗にいう「食いっぱぐれない」「物が集まる(物縁がある)」「などから「五穀豊穡の使い」と言われており、他にもネズミは子だくさんなので「子孫繁栄」の象徴とされています(諸説あり)。もしかすると、子年生まれの方には物縁のある方が多いかもしれません。

「八浄寺」(大黒さん)のお顔を見ると心配や不安があっても「大丈夫、今は大変でもなんとかなるぞ」と思わせてもらえます。その顔、お姿を見るために毎年七福神巡りをするのが楽しみの一つになっています。最後にこの一言で締めさせていただきます。「ここに、まゝるく、お陰様…」合掌。

受付 高尾 聡



生徒さんの作品

みさき漁さんの似顔絵教室
ギャラリー



くらしのページ

介護保険のヘルパー利用について

「これからは、ヘルパーさんに来てもらうってお世話してもらったら…」病院の付き添いもお願いして…等、介護のことを話し合う家族会議

や退院時の話し合いでよく出てくるお話です。ヘルパーさんが「いつもそばにいてお世話してもらえたら…」そんなことを思い描く方も少なくないようです。ヘルパーさんの利用は、介護度によって違ってきます。要支援の場合は、概ね週に2回〜3回、1回の支援は概ね45分とされています。要介護の場合は、身体介護と生活援助に分類され、その人の状態や環境、区分支給限度基準額(介護度によって使える単位数)によって、ご本人やご家族と相談しながらケアマネジャーと予定を組んでいきます。ヘルパーさんが来てくれるのは一般的に1日2回、2時間程度(他のサー

ビス利用状況によります)になります。ちなみに、病院の付き添い(院内)は介護保険対象外になり、訪問介護事業所と保険外の契約(1時間1000円〜2000円とさまざまです)が必要になります。「いつでもすぐに来てもらえたら…」ような支援にはならないようです。大変複雑ですが、ヘルパーさんの利用など介護のことを元気な時から話しておくとおすすめます。ぜひケアマネジャーにもご相談ください。

30年ほど前には在宅介護の「要」とされていたヘルパー、今では「あれはできない、これはできない」と規制だらけの使いにくいサービスを



安井 直樹

お知らせ

のむら健康いきいき体操教室

- ◎とき 毎月第一木曜日 午前10時〜 午後1時20分
- ◎ところ 地域生活支援ハウス のむら
- ◎参加費 3000円
- ◎とき 毎月第一・第三月曜日 午後1時20分〜 午後1時50分
- ◎ところ 野村医院2階リハビリ室
- ◎参加費 無料

になったように思えます。また、最近では「ヘルパー事業所の倒産が過去最高に」「訪問介護「ゼロ」自治体」「ヘルパーの高齢化で人がいない…」等が広く伝えられています。いざ介護が必要になった時にサービスが利用できない、そんな事態も実際に起きています。暑い日も寒い日も、雨の時も、コロナの時も…一生懸命走り回り高齢者を支援するヘルパーさんたち

健康情報テレホンサービス

兵庫県保険医協会 0120-979-451
078-393-1824
078-393-1825
※携帯電話からのご利用には通話料がかかります

放送テーマ 祝日は直前の放送日のテーマを放送します。都合により、放送テーマを一部変更することがあります。

3月	月曜日	夜尿症
	火曜日	高齢者の低栄養について
	水曜日	女性の外陰部のかゆみと治療
	木曜日	後鼻漏
	金土日	狭心症と心筋梗塞